



第3回置賜地区青少年育成連絡協議会

充実の取組みに感謝！ 一年間ご協力いただきありがとうございました。

2月19日(水)、置賜総合支庁において、第3回置賜地区青少年育成連絡協議会定例会が開催されました。今年度の取組みを振り返るとともに、反省や課題を受けた改善の方向性を確認する会になりました。山口会長は挨拶の中で、各市町の皆様のおかげで滞りなく事業展開できたことに感謝を述べました。また、「生徒と地域の大人の対話会」で、高校生が初対面の人と人間関係を築き堂々と意見を発表する姿に触れ、顔を合わせて話し合うことの大切さを再確認しました。

会議では今年度の事業の報告と来年度の計画が了承されました。青少年を取り巻く状況の変化に応じた取組みになるよう努めて参りますので、引き続きよろしくお願ひします。今後とも本協議会を中核として、置賜地区が一つになり青少年健全育成やいじめ・非行の防止を推進して参りましょう。



～ SNSとの上手な付き合い方を考える ～

世代を超えて語り合う有意義な対話会

12月22日(日)、長井高等学校を会場に「高校生と地域の大人の対話会」が開催されました。この対話会は、「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の一環として、問題解決に主体的に取り組む契機として実施しているものです。

初めに、長井高校生による、対話を重視した生徒会活動についての発表が行われました。引き続き、「SNSとの上手な付き合い方」をテーマに、ワークショップ形式で意見交換を行いました。SNSのメリット、デメリットや利用の際の注意点を考えることを通して、世代を超えた交流が生まれました。SNSのよさを生かすためには、主体的に考え適切に判断する、ネットだけでなく直接的な関わりも大切にする、困ったことが起こったら信頼できる人に相談するなど、SNSの適切な活用のために必要なことが明らかになりました。

自分の考えをしっかりと述べる長井高校生と、ファシリテーターを務めていただいた長井市青少年育成推進員、各市町から参加した皆様が、和やかな雰囲気の中で真摯に語り合う有意義な対話会になりました。



活発なワークショップ



話し合いの振り返り

スマートフォン等のインターネット接続機器の利用が急速に進み、多くの青少年がラインやインスタグラム、ティックトック等のSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用しています。

このような状況の中で、長時間利用による生活習慣の乱れ、プライバシーの侵害、犯罪に巻き込まれ被害者や加害者になってしまうケースが増え、深刻な社会問題になっています。

そこで、青少年が初めて自分のスマートフォン等を手にする時期に、関係事業者や保護者、学校が連携して啓発活動に集中的に取り組めます。



< 4つの重点 >

- ①ペアレンタルコントロール
- ②フィルタリングの利用
- ③家庭内のルールづくり
- ④ネット活用能力の向上

「闇バイト」は「犯罪」です！ アルバイトではありません。

SNSで「高額報酬」、「ホワイト案件」などと投稿し、応募した人に強盗などの凶悪犯罪をさせる行為が横行しています。青少年を実行犯として利用し、使い捨てにする犯罪グループが存在するのです。

右図は、山形県警察が作成した啓発チラシから抜粋したスマホ画面のイメージ画像ですが、このような誘いに乗ってしまう若者が多くなっています。

「闇バイト」の実態

安易に応募すると個人情報を抑えられ、脅され逃げられなくなる。逮捕されるまで利用される。

こんな募集内容には要注意！

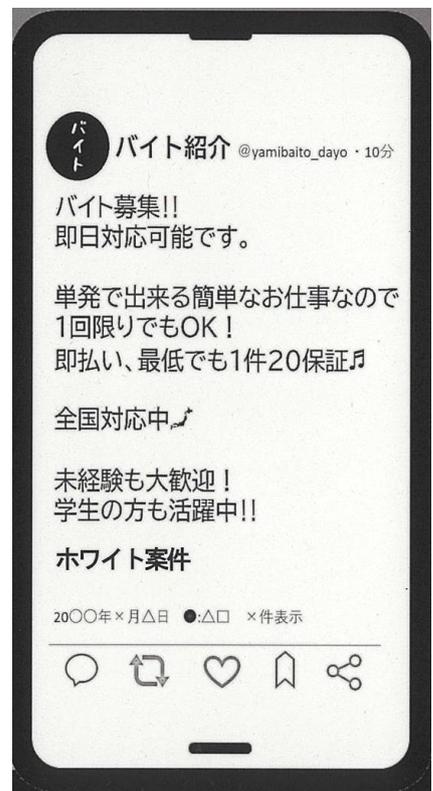
- ①仕事の内容を明らかにせず高額な報酬の支払い
- ②応募後に秘匿性の高いアプリへ誘導
- ③運転免許証や顔写真等の個人情報の送信を要求

このような犯罪に加われれば必ず逮捕され、厳しく罰せられるのです。「あやしい」「まずい」と思ったら、すぐに信頼できる大人や警察に相談することが重要です。未来ある青少年を守るために、啓発に努めましょう。

「応募してしまった、脅されている、抜けられない」

そんな時は警察に相談してください。

- 【相談窓口】 警察安全相談 #9110
- 暴力団関係相談 023-622-4525



<山形県警察作成のチラシより>

毎月第3日曜日は「家庭の日」

上段が月別推進テーマ
下段が行動実践事例

2月

「寒さに負けない心と体をつくる」

・食事や睡眠に気をくばり、適度な運動を行うことで、寒さや風邪に負けない体力づくりに心がけましょう。

3月

「学期の節目を迎え、一年間の子どもの成長を祝う」

・卒園、卒業、進級を家族そろって祝いましょう。



家族そろって笑顔で過ごす時間をつくるよう呼びかけましょう！！